

専任教員教育研究業績

平成29年5月15日記入

氏名	ふりがな	所属学科	職 位	性別
森 寄 正 幸	もりぎきまさゆき	保育学科 通信教育課程	教授・准教授・○講師・助教	○男・女

小田原短期大学における担当科目名

教育の方法と技術 身体表現Ⅰ 身体表現Ⅱ 保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習指導Ⅰ 保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ

学 歴

和暦（西暦）年 月	事 項	学位
昭和54（1979）年4月	千葉敬愛短期大学初等教育科 入学	
昭和56（1981）年3月	千葉敬愛短期大学初等教育科 卒業	短期大学士
平成17（2005）年4月	千葉大学大学院 教育学研究科 カリキュラム開発専攻 入学	
平成18（2006）年2月	独立行政法人大学評価・学位授与機構 単位修得	学士（教育学）
平成25（2013）年3月	千葉大学大学院 教育学研究科 カリキュラム開発専攻 卒業	修士（教育学）

教 育 歴 ・ 職 歴

名 称	期 間	教 育 内 容 又 は 業 務 内 容
千葉県 銚子市立飯沼小学校	昭和57年4月 ～昭和60年3月	小学校教諭として勤務
千葉県 銚子市立椎柴小学校	昭和60年4月 ～平成元年3月	小学校教諭として勤務
千葉県 旭市立中央小学校	平成元年4月 ～平成5年3月	小学校教諭として勤務
千葉県 銚子市立明神小学校	平成5年4月 ～平成9年3月	小学校教諭として勤務
千葉県 銚子市立春日小学校	平成9年4月 ～平成12年3月	小学校教諭として勤務
千葉県長期研修生 （環境教育・千葉大）	平成12年4月 ～平成13年3月	研究主題「地域の食を中心とした環境教育プログラム開発」
千葉県 銚子市立猿田小学校	平成13年4月 ～平成16年3月	小学校教諭として勤務
銚子市教育委員会	平成16年4月 ～平成18年3月	「理科」・「生活科」・「特別活動」等を担当
千葉県 旭市立三川小学校	平成18年4月 ～平成22年3月	小学校教諭として勤務
千葉県 銚子市立清水小学校	平成22年4月 ～平成28年3月	小学校教諭として勤務
小田原短期大学	平成28年4月～現在に 至る	保育学科通信教育課程 特任講師

所 属 学 会 等

名 称	活動期間	活動内容（役職等の活動を含む）
日本理科教育学会	平成12年6月～現在	大会参加
日本環境教育学会	平成12年6月～現在	大会参加
日本保育者養成教育学会	平成29年1月～現在	大会参加

社 会 活 動 等

名 称	活動期間	活 動 内 容
銚子理科教育同好会員	昭和60年～現在	事務局長，理事を歴任
陸上公認審判員	平成元年～現在	千葉県陸上競技協会 銚子陸上競技協会

子ども実験・実習教室	平成6年～平成18年	銚子市青少年文化会館等で、リサイクル作品・磯の生物・天文教室等の講師		
児童・生徒科学作品審査員	昭和60年～平成27年	銚子市・旭市科学作品展の審査員 千葉県科学作品展論文の部第4学年責任者（H26） 銚子市科学作品展論文の部審査部長（H25～H27）		
担当教科目に関する資格・免許等				
名 称	取得年月	取 得 機 関		
小学校教諭二級普通免許状	昭和56年3月	千葉県教育委員会		
小学校教諭一種免許状	平成7年11月	千葉県教育委員会		
ネイチャーゲーム指導員	平成12年8月	日本シェアリングネイチャー協会		
小学校教諭専修免許状	平成15年12月	千葉県教育委員会		
アンガーマネジメントキッズインストラクター	平成27年9月	日本アンガーマネジメント協会		
メンタルヘルス心理カウンセラー	平成27年10月	日本能力開発推進協会		
研究実績に関する事項				
代表的な著書、論文等の名称	単 著 共 著 の 別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称	概 要
(著書) なし				
(学術論文) 1. 小学校理科における天文分野の指導	単著	平成25年2月	千葉大学大学院教育学研究科修士論文	教育方法学の視点で、小学校天文分野における授業書の作成、及び授業実践をし、結果の分析から、より効果的な授業プランを考察した。本研究では、学習指導のポイントを、発問づくりとコミュニケーションの組織化という両面から明らかにした。
2. The comparative study of environmental awareness on a local basis among elementary school students both in Japan and the U.S.—Taken from the cases in Choshi and Findlay	共著	平成28年2月	千葉科学大学紀要	日本とフィンランドの12歳を対象に社会制度による環境意識と環境保全活動の違いを調査した。環境保全に対する態度が環境保護活動に影響していることや、持続可能な社会のために環境意識を深めることへの価値を色々な方法で考えさせることが有効であることが明らかになった。
(その他) (口頭発表) 1. 地域の教育資源を生かした理科学習	単独	平成25年11月	千葉県教育研究会理科教育部会研究発表大会(東総代表)	児童一人一人が興味・関心をもって学習できるように、効果的な学習資料の工夫や大学との連携(SPP)を取り入れた学習形態の工夫により、地域の教育資源を生かした学習の在り方を追究した。
その他 (表彰等)				